

吹すると共に可及的に無産大衆を階級的政治戦線に結成せんとすべし。此の故に当惑はもとより問題外である。若し幸へして我輩目からの訓練と一般無産大衆に階級的政治教育を行ふ事か出来得るならば或は得失相半する事を得るべからう。

則ち我輩は白刃と棍棒との下をくぐりつて闘争しつゝ在る所反動分子の蠢動と官憲の迫害は豫め覺悟して居る事だ。

全日本の同志諸君の支援と協力を俟て止まない

大正十五年九月廿五日

民憲党本部

國務勸業民党八幡支部組織に對する運動方針を変更す。

十月七日召集の民憲党八幡中央委員會に於て労働党八幡支部組織に關し次の如く従来の態度を変更す。

去る八月一日福岡市に於て創立大會を挙げたる労働党福岡支部聯合會は本部の第三回中央執行委員會の決議に違反するとの理由の下に今日に至る迄承認せられず、尙に頭初より余り熱意を有せざる労働同志會は支部聯合會の諸會合にも出席せざらぬのみか、新に創立された八幡支部に對してもサボタージュの態度を現り組織運動に大なる障害を来すのみが、縣支部聯合會の不承認は一般大衆宣傳の上にも支障を来す慮あるに非ず。民憲党は此際支部創立に對して本部より承認を得る必要上と同志會の積極的活動を起さしむる爲め一時總同盟九州聯合會に承認して當分の事として先づ同志會と民憲党の間に依つて労働党八幡支部を組織する事の方針を變更して積極的に運動を起す事に決定し委員三名を挙げて交渉する事となつた。

▲ 總同盟九州聯合會の回答

民憲党の要求を諒として即時承認する事となつた。

▲ 同志會の回答

七日の民憲党の提議に對しては十月十四日開催の本部役員會議にて決定する故に先づ回答を保留した。